

研究機関名：東北大学

受付番号：	2014-1-685
研究課題名	小児における麻酔覚醒時間と術中の呼気二酸化炭素濃度の関係
研究期間	西暦 2014年 1月（倫理委員会承認後）～ 2016年 3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（電子麻酔記録装置に入力されている術中バイタルサイン）
上記材料の採取期間	西暦 2010年 2月～ 2013年 12月
意義、目的	小児は全身麻酔覚醒時間において個人差が大きい。そこで、術中の呼気二酸化炭素濃度をはじめとしたバイタルサインや麻酔薬の量と覚醒時間に関してどのような関係があるのか後ろ向きに検討する。
方法	電子麻酔記録装置に入力されている2時間以内の体表手術を受けた1-6歳のASA1-2（手術の対象となる疾患は限局的であって全身的な障害はないか軽度から中程度の系統的な障害があるが日常生活に支障がないもの）の小児患者におけるバイタルサイン（術中呼気二酸化炭素濃度、術中非観血的血圧、術中動脈血酸素飽和度、術中心拍数）及び術中総フェンタニル投与量のデータを抽出し、それぞれのパラメータの術中の平均値と麻酔覚醒時間をプロットした散布図を作成し、その傾向を検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口	〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院 麻酔科 TEL022-717-7406 実施責任者 山内 正憲 実施担当者 金谷 明浩